

令和3年度（2021年度）

みんなの川の環境調査

- 川の生き物と水質を調べてみよう -

報告書

令和4年（2022年）2月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

はじめに

本報告書は、環境を守ることに関心のある団体や学校等が身近な河川等において、指標となる生物や水質等の水環境調査を実施した結果をとりまとめたものです。

河川等の水質を改善するためには、汚れのもととなる物を流す工場・事業場や一般家庭等からの排水対策も必要ですが、それとともに地域の人々が水に対し関心を持ち、水を汚さないよう意識していただくことが重要です。また、今日では、これまで私たちが忘れかけていた自然とのふれあいや水辺での遊び、水生生物の生息環境の保全などを求めようという志向が高まっており、いわゆる快適な「水環境」を保全する必要があります。

このような背景から、県では平成6年度（1994年度）に水質調査、川底調査、底生動物調査の3部門からなる啓発用テキスト「川の水環境・調査のてびき」を作成し、身近な水環境を保全するための啓発に努めてきました。これは河川の底生動物25種を指標生物として選定し、水環境を「：快適な水環境」、「：親しめる水環境」、「：不快を感じない水環境」、「：多少不快な水環境」及び「：不快な水環境」の5段階で評価する「熊本県方式」となっています。

底生動物の生息状況を見ると、底生動物は自分の餌を確保する場所が必ず必要であり、また、自らの身を守るために石ころや泥を必要とすることもあります。特に水生昆虫では、水中から離れた水辺が繁殖の場である場合もあり、水質の快適さのみではなく、水温、水生植物、水辺環境等多くの要因が加わり、総合的な水環境と関わりながら生息していることが分かります。こういったことから、本調査においては単に「水質」ではなく「水環境」という表現を用いています。

最後に、本書をまとめるに当たり、調査に参加いただいた環境保全団体、学校や調査指導協力をしていただいた関係機関の皆様に御礼申し上げます。

令和4年（2022年）2月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

目 次

. 調査の目的、方法、結果の概要 -----	1
. 各団体の調査結果 -----	7

調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表 - 1 に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等21団体がのべ36地点で調査を実施し、のべ936人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が8団体、学校関係が13団体でした。

また、調査場所36地点の内訳からは、緑川水系（9地点）や坪井川水系（6地点）、菊池川水系（4地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

指標生物及び簡易水質調査結果（表 - 2）

生物から見た水環境評価では、調査地点17地点中、評価値「快適な水環境」が11地点、評価値「親しめる水環境」が3地点、評価値「不快を感じない水環境」3地点、評価値「多少不快な水環境」が0地点、評価値「不快な水環境」は0地点と多くの地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点36地点中、評価値「快適な水環境」が19地点、評価値「親しめる水環境」が11地点、評価値「不快を感じない水環境」が2地点、評価値「多少不快な水環境」が4地点、評価値「不快な水環境」は0地点でした。

表 - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 - 2 令和3年度(2021年度)における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価	
1	1	生物&水質	錦町立一武小学校	大谷川	球磨川	錦町	錦町一武	33	6月22日	IV	III	
2	2	生物&水質	南関町立南関第二小学校	関川	関川	南関町	南関町立南関第二小学校付近	15	7月13日	IV	I	
3	3	生物&水質	八代市立泉第八小学校	西の内谷川	球磨川	八代市	五家荘溪流キャンプ場付近	5	7月16日	I	I	
4	4	生物&水質	泗水東小学校 菊池管内環境活動協議会	日向川	菊池川	菊池市	菊池市泗水町永	46	10月4日	I	I	
5	5	水質	九州テクニカルメンテナンス株式会社	亀川		天草市	明亀橋付近	18	10月10日	I		
6		水質		亀川		天草市	樋渡橋付近	18	10月10日	I		
7	水質	木山川		緑川	益城町	荒瀬橋付近	26	10月16日	I			
8	6	水質		木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	26	10月16日	I		
9		水質		木山川	緑川	益城町	新川橋付近	26	10月16日	I		
10	水質	坪井川		坪井川	熊本市	栄橋付近	18	10月16日	I			
11	7	水質		梶尾川	坪井川	熊本市	北部坪井橋付近	18	10月16日	I		
12		水質		坪井川	坪井川	熊本市	鶴羽田橋付近	18	10月16日	II		
13	水質	坪井川		坪井川	熊本市	平成大橋付近	15	10月16日	II			
14	8	水質		坪井川	坪井川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	15	10月16日	I		
15		水質		井芹川	坪井川	熊本市	第1池上橋付近	15	10月16日	I		
16	9	水質		北甘木活動組織 北甘木親子会	矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流右岸	55	11月7日	II	
17		水質			天水川	緑川	嘉島町	天水川3号橋下流右岸	55	11月7日	II	
18		水質				嘉島町		千原ため池(北甘木)	55	11月7日	IV	
19		水質				嘉島町		北甘木地内 民家(地下水)	55	11月7日	I	
20	10	生物&水質	(公財)熊本県環境整備事業団 南関町立南関第四小学校	内田川	菊池川	南関町	柴尾橋	25	10月7日	II	I	
21	11	生物&水質	農村の豊かさ&福祉を学ぶふるさと自然塾	竜野川	緑川	甲佐町	龍野小学校裏	10	8月22日	II	I	
22	12	生物&水質	社会福祉法人天草市社会福祉協議会有明支所	東迫川		天草市	旧赤崎小学校付近	9	8月5日	I	II	
23	13	水質	大津町立大津北小学校 菊池管内環境活動協議会	矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	13	9月28日	I		
24		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校付近	13	9月28日	I		
25		水質		地下水		大津町	大津町平川地区	13	9月28日	I		
26		水質		通潤用水	緑川	大津町	円形分水工	13	9月28日	I		

表 - 2 令和3年度(2021年度)における県内の団体の参加状況及び調査結果(続き)

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
27	14	生物&水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	浜戸川・小熊野川合流地点	14	10月31日	I	Ⅲ
28	15	生物&水質	天草市立本渡南小学校	町山口川		天草市	山口橋付近	44	9月22日	Ⅲ	I
29		生物&水質		町山口川		天草市	山口橋付近	32	9月28日	Ⅳ	Ⅱ
30		生物&水質		町山口川		天草市	天草高校付近	28	9月21日	Ⅱ	Ⅲ
31	16	生物&水質	御船町立高木小学校	矢谷川	緑川	御船町	高山産神社付近	44	10月19日	Ⅱ	I
32	17	生物&水質	苓北町立志岐小学校	志岐川		苓北町	八竜橋付近	31	10月11日	Ⅱ	Ⅱ
33	18	生物&水質	苓北町立富岡小学校	中山川		苓北町	袋池付近	14	10月18日	Ⅲ	I
34	19	生物&水質	苓北町立坂瀬川小学校	松原川		苓北町	坂瀬川小学校付近	14	10月26日	Ⅱ	Ⅱ
35	20	生物&水質	苓北町立都呂々小学校	舞子川		苓北町	舞子橋	3	10月29日	Ⅱ	I
36	21	生物&水質	熊本県環境センター 水俣市立水俣第一小学校	湯出川	水俣川	水俣市	小崎公園付近	84	10月15日	I	I
									環境団体等		8
									学校関係		13
									のべ調査地点		36
									のべ調査人数		936

水系	合計
緑川	9
坪井川	6
菊池川	4
球磨川	2

調査結果	水質	生物
I	19	10
Ⅱ	11	4
Ⅲ	2	3
Ⅳ	4	0
V	0	0
合計	36	17

表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書から分かる範囲で記載しています。

- 階級 : 快適な水環境
- 階級 : 親しめる水環境
- 階級 : 不快を感じない水環境
- 階級 : 多少不快な水環境
- 階級 : 不快な水環境

数字は表 - 2 の調査番号

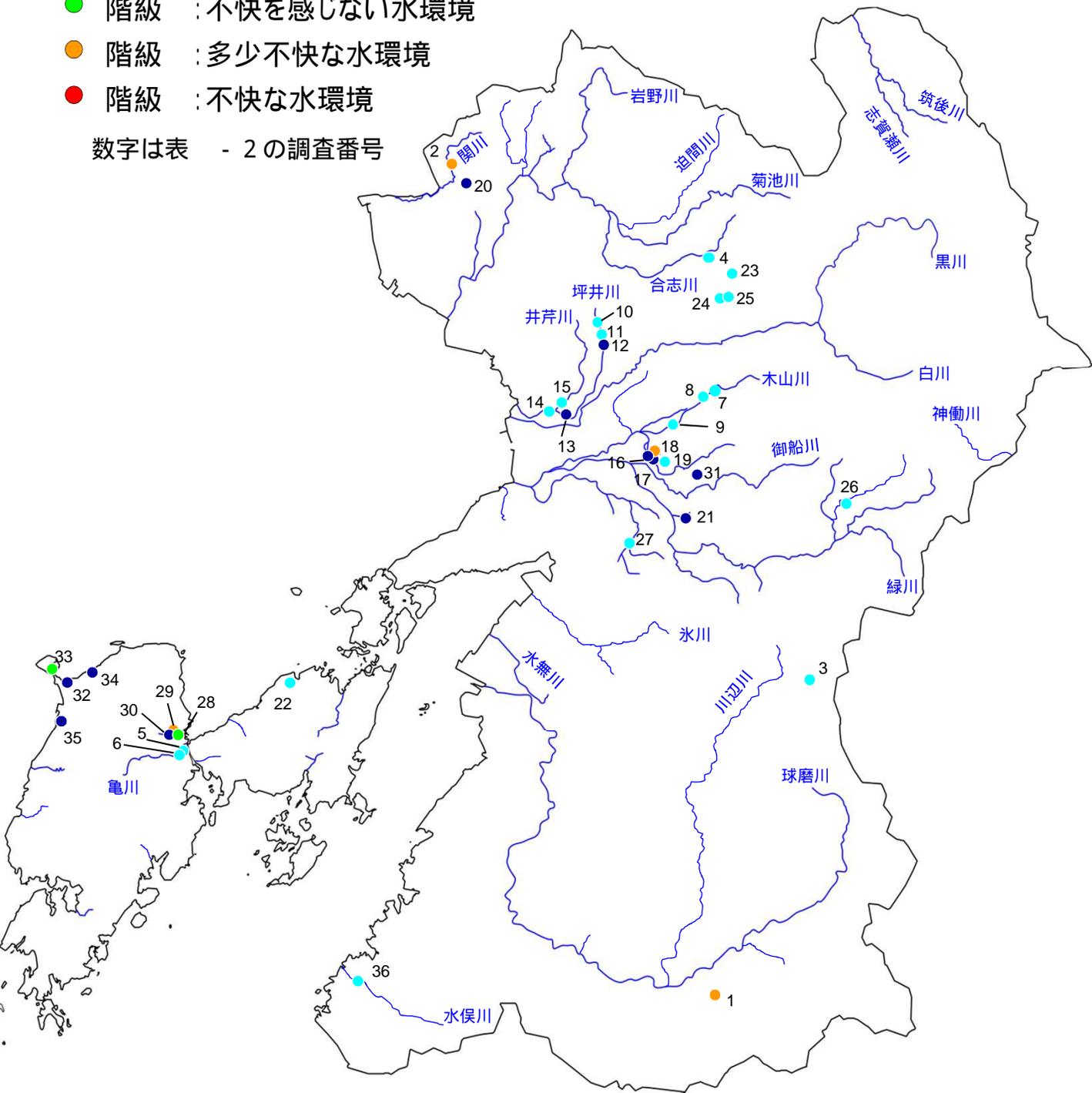


図 - 1 水質評価結果マップ

- 階級 : 快適な水環境
- 階級 : 親しめる水環境
- 階級 : 不快を感じない水環境
- 階級 : 多少不快な水環境
- 階級 : 不快な水環境

数字は表 - 2 の調査番号

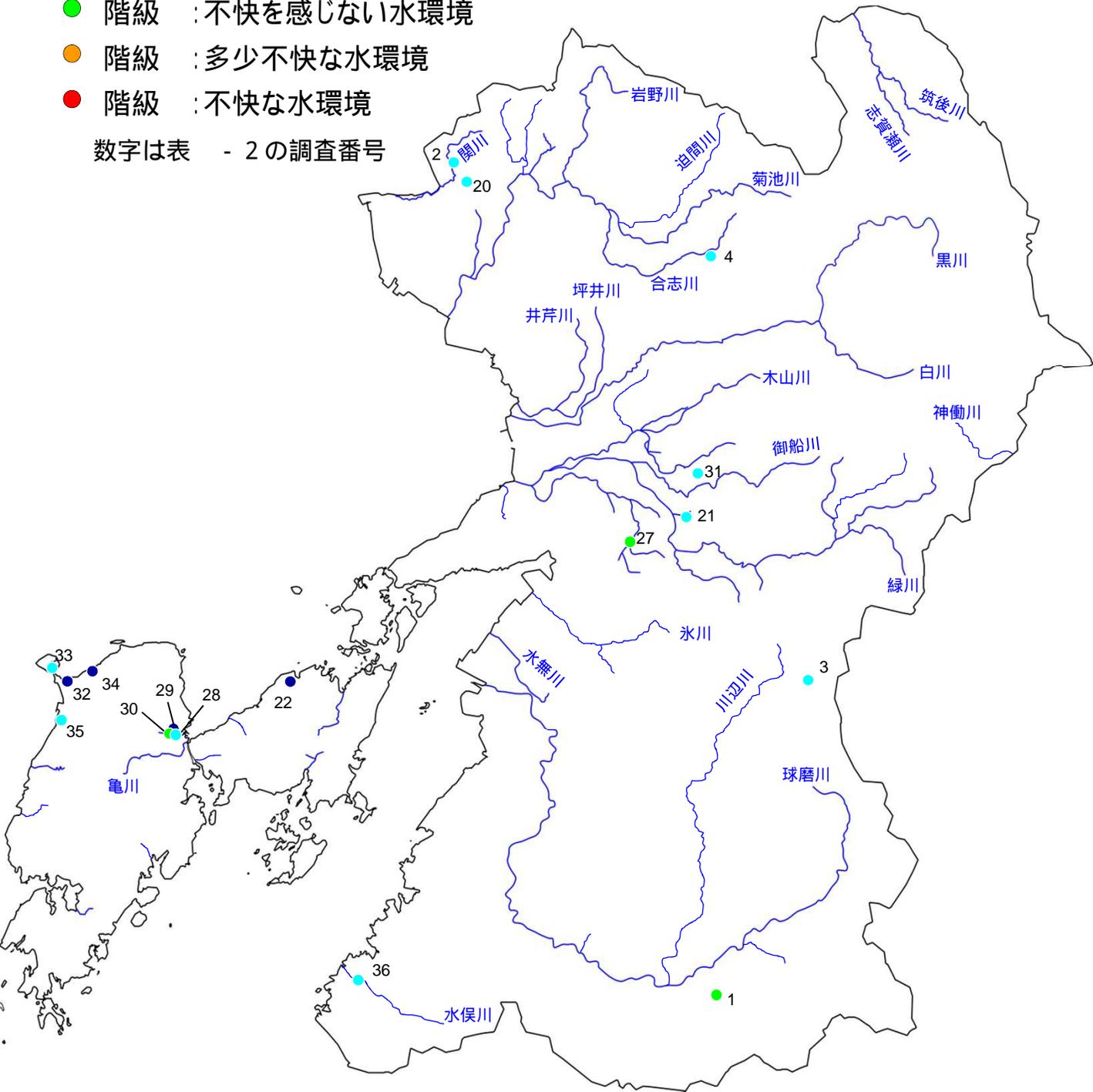


図 - 2 指標生物評価結果マップ

各団体の調査結果

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	大谷川 (水系 球磨川)		
調査地点名	錦町一武		
調査団体名	錦町立一武小学校		
代表者名	参加人数	33 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年6月22日	調査時間	14:45
調査日天候	晴れ	気温	32

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点 (A + B) / 2 = 2 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	25		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
水質評価点 (a + b + c + d + e) / 5 = 2.4 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点 (f + g + h + i + j) / 5 = 2.2 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 1

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境(多少不快な) ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	3	1	2	1
	最も多い種の数()					1
	得点の合計	3	1	2	1	3
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	関川 (水系 関川)		
調査地点名	南関町立南関第二小学校付近		
調査団体名	南関町立南関第二小学校		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所	〒 電話: - - ()		
調査年月日	令和3年7月13日	調査時間	午前10時30分
調査日天候	晴	気温	31℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	26.8℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2.4 点 階級 IV			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 2

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		●				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ						
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキ貝						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	3	2	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)		1			
得点の集計	得点の合計	5	3	3	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	西の内谷川 (水系 球磨川)		
調査地点名	五家荘溪流キャンプ場		
調査団体名	八代市立泉第八小学校		
代表者名	参加人数	5人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年7月16日	調査時間	13:30
調査日天候	曇り	気温	20.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点 階級 I			

2. 水質を調べる

水温	18.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ 平瀬
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点 階級 II		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

満潮のころだったのか、川の水が逆流していた
近くに葦は生えていた
ハエ? がいた。(メダカだという人もいたが)

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 3

(水系 球磨川) 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境(多少不快な) ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	4	5	2	1
	最も多い種の数()	1				
	得点の合計	5	5	2	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 菊池川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	46人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月4日	調査時間	9時00分～11時30分
調査日天候	晴	気温	30

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	(A + B) / 2 = 2.5 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	15		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	(a + b + c + d + e) / 5 = 1 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	(f + g + h + i + j) / 5 = 2.0 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

エビ類やサワガニが多く採取できたことから、きれいな川であることを感じた。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 4

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不快を感じない ()	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類					
多少不快な水環境 ()	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	1	0	2	2
	最も多い種の数()	1				
	得点の合計	2	0	2	2	0
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 5

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	明亀橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月10日	調査時間	6:30
調査日天候	晴れ	気温	22.0 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
① 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	22.5 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
② 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ:

水質は、無色、無臭で快適な水環境でした。
又、魚の生息が確認できました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 6

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月10日	調査時間	7:00
調査日天候	晴れ	気温	23.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 2.0$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	22.5 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 1.0$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 = 1.6$ 点 階級 II			

メモ:

水質は、無色、無臭で快適な水環境でした。
又、魚の生息が確認できました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	荒瀬橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	26人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	9:17
調査日天候	晴	気温	22.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	22.5℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	みらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点 階級 I			

メモ:

水質はきれいでした。

採水したバケツにヤゴのような生物がいました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	三竹橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	26人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	25.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	17.3℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II	

メモ:

例年に比べて水量が少なく浅く感じましたが、非常に澄んでいました。
川底には大き目の石が多かった。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	新川橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	26人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	9:50
調査日天候	晴	気温	29.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	24.8℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2点 階級 III	

メモ:

小魚やナマズが見られました。
上流に比べ水がやや濁っているように見えました。
川底には石がほとんどなく砂が多かった。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	8:40
調査日天候	晴	気温	22.3 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	19.4 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	② ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

河川水の見た目は澄んでおり、綺麗に川底まで確認する事ができました。

また、川には人工のブロックが設けられており、藻類の付着が見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系 坪井川)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	9:05
調査日天候	晴	気温	22.3 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	21.8 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

河川水の水量は少ないですが、澄んでいました。

川底は砂泥の堆積が見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	8:35
調査日天候	晴	気温	22.3 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

河川水の水量は多く、とても澄んでいました。川底には砂泥が溜まっており、採水時に河川に入りましたが、足首の上まで埋まりました。砂泥が多く溜まっている場所には雑草が生えていました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	15人
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	9:15
調査日天候	晴	気温	23.4℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	21.5 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 2.2 点 階級 III	

メモ:

魚が泳いでいる姿が見えました。
川沿いにススキが咲いていました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	高橋稲荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	15人
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	23.4℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3.0 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	23.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 ③ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ② 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 2.4 点 階級 IV	

メモ:

白や黒色の大きい鯉が数匹泳いでいました。
トンボやカモがいました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系 坪井川)		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	15人
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月16日	調査時間	10:00
調査日天候	晴	気温	23.4℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3.0 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	22.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ② 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 2.0 点 階級 III	

メモ:

魚が泳いでいるのが分かるぐらいの透明度でした。

岩に鳥がとまっていました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢形川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(石塚橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	55人(子供30大人25)	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年11月7日	調査時間	AM 9:00 ~
調査日天候	晴れ	気温	18

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	平地流域
B. 川の背景	1. 森林	畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	14		
a. 水の色	無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1.2$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	天水川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(天水川3号橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	55人(子供30大人25)	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年11月7日	調査時間	AM 9:00 ~
調査日天候	晴れ	気温	18

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	平地流域
B. 川の背景	1. 森林	畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	18		
a. 水の色	無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1.2$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	すいけい (水系)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(千原ため池)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	55人(子供30大人25)	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年11月7日	調査時間	AM 9:00 ~
調査日天候	晴れ	気温	18

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	平地流域
B. 川の背景	1. 森林	畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	13.5		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	2. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 2.4$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	すいけい (水系)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(集落内の民家)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	55人(子供30大人25)	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年11月7日	調査時間	AM 9:00 ~
調査日天候	晴れ	気温	18

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 3.0$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	17		
a. 水の色	無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	.80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	.65~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	.5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 旱瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	内田川 (水系 菊池川)		
調査地点名	柴尾橋		
調査団体名	(公財)熊本県環境整備事業団・南関町立南関第四小学校4年生		
代表者名	参加人数	小学生15人、大人10人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月7日	調査時間	9:40~10:35
調査日天候	晴れ	気温	℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			①1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	②2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	②2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	℃
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

その他確認できた生物

メダカ、ヤゴ、亀(すっぽんと思われる)

※水温、気温は測定なし。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 20

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	2	2	1	1
最も多い種の数()		1				
得点の合計		3	2	1	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		: 快適な水環境				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	たつの川 (水系 緑川)		
調査地点名	龍野小学校裏		
調査団体名	農村の豊かさと福祉を学ぶふるさと自然塾		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年8月22日	調査時間	10:00
調査日天候	晴れ	気温	29

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	評価の 基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 階級

2. 水質を調べる

水温	18
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 2. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 2. 5.0mg/L以上
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1.6$ 点 階級

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 2. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 2.0$ 点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

甲佐町たつの川環境調査 令和3年8月22日 参加者10名

ソーシャルディスタンスを守りながら、川の水環境調査を行いました。

PH7.5、COD5、石の状態: 豪雨の後で泥の堆積が見られる。浮石もあるがやや沈み石が多い。石の大きさ: みかんが多く、時々メロン大。堆積物: 砂泥、石付き着藻類は、少なかった。川の水環境指標生物としては、カワゲラ類、ヨコエビ類、ナガレトビケラ類、ナミウズムシ、特に子を抱えたサワガニが多数見られた。よって、水質階級 と判断しました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 21

4. 底生動物を調べる

階級	No.	しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブコ類・ガガンボ類					
不快を感じない ()	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドロムシ					
	15.	コカゲロウ類					
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
水環境 ()	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 ()	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)		3	1	1	0
最も多い種の数()		1					
得点の合計		4	1	1	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定							

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	東迫川 (水系)		
調査地点名	天草市有明町赤崎(旧赤崎小学校付近)		
調査団体名	社会福祉法人天草市社会福祉協議会有明支所		
代表者名	参加人数	9 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年8月5日	調査時間	10:30
調査日天候	晴れ	気温	29.5

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点 (A + B) / 2 = 2 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	24		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点 (a + b + c + d + e) / 5 = 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点 (f + g + h + i + j) / 5 = 2.2 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

今日は、川の中の生き物を見ました。
色々な生き物がいて、とてもおもしろかったです。
これからも、きれいな川を保っていきたいです。

5年 1組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 22

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	1	3	4	0
最も多い種の数()			1			
得点の合計		1	4	4	0	1
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年9月28日	調査時間	9時
調査日天候	晴	気温	28

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	18		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 1.2$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。



写真は矢護川公園です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年9月28日	調査時間	9時
調査日天候	晴	気温	28

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	20		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 1.4$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水)(水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年9月28日	調査時間	9時
調査日天候	晴	気温	28

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 1.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	15		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名 <small>ちようさかせんめい</small>	通潤用水 <small>すいけい</small> (水系 <small>みどりかわ</small> 緑川)		
調査地点名 <small>ちようさちてんめい</small>	円形分水工		
調査団体名 <small>ちようさだんたいめい</small>	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名 <small>だいいりやうめい</small>	参加人数	13人	
連絡先住所 <small>れんらくせんしよ</small>			
調査年月日	令和3年9月28日	調査時間	9時
調査日天候	晴	気温	28

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形 <small>けい</small>	1. 渓流域 <small>けいりゅういき</small>	2. 山間流域 <small>さんかんりゅういき</small>	3. 平地流域 <small>へいちりゅういき</small>
B. 川の背景 <small>けい</small>	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点 <small>ひやうかきそてん</small>	$(A + B) / 2 = 1$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	15		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点 <small>すいしつひやうかてん</small>	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石 <small>うきいし</small>	3. 沈み石 <small>しずいし</small>	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類 <small>たいせきぶつ しゅるい</small>	1. なし	2. 砂泥 <small>すなどろ</small>	3. 泥(腐敗) <small>どろ ふばい</small>
i. 付着藻類色 <small>ふちやくそうるいしよ</small>	1. 茶緑色 <small>ちやりよく</small>	2. 緑色 <small>みどりいろ</small>	3. 白灰黒色 <small>しろはいくろしよく</small>
j. 付着藻類量 <small>ふちやくそうるいりやう</small>	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点 <small>かわぞこひやうかてん</small>	$(f + g + h + i + j) / 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浜戸川・小熊野川合流点 (水系 緑川)		
調査地点名	宇城市豊野町山崎 浜戸川・小熊野川合流地点		
調査団体名	豊野町みどりの少年団		
代表者名	参加人数	14 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月31日(日)	調査時間	午後2時00分
調査日天候	晴れ	気温	23 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	20.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

ヌマエビの仲間

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 27

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	0	2	5	2
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	0	2	6	2	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	山口橋付近		
調査団体名	天草市立本渡南小学校		
代表者名	参加人数	44人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年9月22日	調査時間	8:30
調査日天候	晴れ	気温	25.0

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 3$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	23.5		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 2.2$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 旱瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロシ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 1.8$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 28

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不快を感じない ()	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類					
水環境 ()	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	4	3	1	3
	最も多い種の数()	0	0	0	0	0
	得点の合計	4	3	1	3	1
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	山口橋付近		
調査団体名	天草市立本渡南小学校		
代表者名	参加人数	32人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年9月28日	調査時間	14:00
調査日天候	晴れ	気温	31.0

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 3$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	27.3		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 2.4$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 旱瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロシ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 2.2$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 29

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	4	5	4	3
最も多い種の数()		0	0	0	0	0
得点の合計		4	5	4	3	1
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	天草高校付近		
調査団体名	天草市立本渡南小学校		
代表者名	参加人数	28人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年9月21日	調査時間	9:35
調査日天候	晴れ	気温	31.0

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 3$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	25.0		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1.4$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 旱瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロシ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 2.4$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 30

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不快を感じない ()	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類					
水環境 ()	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	0	2	2	1
	最も多い種の数()	0	0	0	0	0
	得点の合計	0	2	2	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢谷川 (水系 緑川)		
調査地点名	高山産神社付近		
調査団体名	御船町立高木小学校3・4年生		
代表者名	参加人数	44人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月19日	調査時間	10:00
調査日天候	晴	気温	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点 (A + B) / 2 = 2 点 階級			

2. 水質を調べる

水温			
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点 (a + b + c + d + e) / 5 = 1.6 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点 (f + g + h + i + j) / 5 = 1.8 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

- ・サワガニがたくさんいた。
- ・川の中を歩くと、川底の泥で水が濁った。
- ・川の中の石にカワニナが付いていた。
- ・コカクツツビケラがいた。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 31

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	2	1	1	0
	最も多い種の数()	1	0	1	0	0
	得点の合計	3	1	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	志岐川 (水系)		
調査地点名	苓北町志岐八竜橋付近		
調査団体名	苓北町立志岐小学校		
代表者名	参加人数	31人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月11日	調査時間	10:45 ~ 12:25
調査日天候	晴れ	気温	30.0

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	26.0		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5 ~ 8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1.4$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 旱瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 2.0$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 32

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	4	2	3	1
最も多い種の数()		0	0	1	0	0
得点の合計		4	2	4	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中山川 (水系)		
調査地点名	中山川 袋池		
調査団体名	苓北町立富岡小学校		
代表者名	参加人数	14人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月18日	調査時間	14:15 ~ 15:55
調査日天候	曇り	気温	22

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	20		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5 ~ 8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 2$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 旱瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 2.2$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 33

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不快を感じない ()	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類					
水環境 ()	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	3	0	2	2
	最も多い種の数()	0	0	0	0	0
	得点の合計	3	0	2	2	1
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	松原川 (水系)		
調査地点名	坂瀬川小学校付近		
調査団体名	苓北町立坂瀬川小学校		
代表者名	参加人数	14人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月26日	調査時間	14:15
調査日天候	晴れ	気温	24.5

階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	$(A + B) / 2 = 2.5$ 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	17		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	$(a + b + c + d + e) / 5 = 1.4$ 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいが	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	$(f + g + h + i + j) / 5 = 1.6$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 34

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境(多少不快な) ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	2	2	3	1
	最も多い種の数()	0	1	0	0	0
	得点の合計	2	3	3	1	2
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	舞子川 (水系)		
調査地点名	舞子橋		
調査団体名	苓北町立都呂々小学校		
代表者名	参加人数	3人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月29日	調査時間	14:15
調査日天候	晴れ	気温	21.0

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	評価の基礎点	評価点	
			水質	川底
	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
評価基礎点	(A + B) / 2 = 2 点 階級		

2. 水質を調べる

水温	18.5		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
水質評価点	(a + b + c + d + e) / 5 = 1.4 点 階級		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 旱瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
川底評価点	(f + g + h + i + j) / 5 = 2 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 35

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
快適な水環境 ()	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 ()	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない ()	13. カワニナ				
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 ()	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 ()	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(+)	3	1	2	1
最も多い種の数()		1	0	0	0	0
得点の合計		4	1	2	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には 印を、最も個体数の多い種類には 印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	湯出川 (水系 水俣川)		
調査地点名	小崎公園付近		
調査団体名	熊本県環境センター 水俣市立水俣第一小学校4年生		
代表者名	参加人数	84 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和3年10月15日	調査時間	14:00
調査日天候	晴れ	気温	27.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	24℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ① 平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.2 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 36

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジュスリカ(赤)					○
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	1	1	3
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	5	3	1	1	3
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

熊本県環境生活部環境局環境保全課
〒862-8570
熊本市中央区水前寺六丁目 18 番 1 号
電話 096-333-2271
E-mail: kankyouhozen@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_583.html

発行者：熊本県
所 属：環境保全課
発行年度：令和3年度
(2021年度)